

産業廃棄物処理業者ニーズ調査（案）

北九州市における産業廃棄物処理の高度化推進に向けた 産業廃棄物処理業者アンケート調査について

北九州市が産業廃棄物処理の高度化推進に向けて実施する、産業廃棄物処理業者アンケート調査に関して、質問項目、把握したい情報の内容、アンケートの回答に基づく検討内容、という3点について以下に整理した。

【アンケート調査の対象と方法（案）】

- ・調査対象：産業廃棄物処理業者 425 者（収集運搬、中間処理、最終処分）
- ・調査方法：アンケート調査票の郵送配布、郵送回収方式
- ・実施時期：9月中旬に調査票を発送予定（回収締切 10月上旬）
- ・調査内容：以下参照

○北九州市産廃処理高度化促進 優良化及び人材確保・育成に係わる事項

1. 事業者概要

- (1)会社名・事業内容について
- (2)事業全体及び産業廃棄物処理事業の売上げ

事業者の概要及び、事業全体の売上と産廃事業の売上げについて把握したい。
これらの情報は、売上規模ごとの集計、整理に使用する。

また、全体売上げと産廃事業のみでの売上げ実績から、市内産廃業者の産廃業専業者数（アクティブ業者）を把握する。

今後の施策の検討においては、特にアクティブ業者の意見を抽出し、今後の施策検討の参考としていきたい。

2. 雇用状況について

- (1)従業員構成（人数・年齢・変動）
- (2)給与・賞与
- (3)社会保障・福利厚生
- (4)勤務時間の管理
- (5)休日、その他の時短勤務・休暇制度

従業員の年齢構成、定着度などについて詳細に把握するとともに、福利厚生、残業制度等の雇用条件の現状について情報を得たい。

残業管理の実態や職場の働きやすさ、ダイバーシティの受入れ状況等を把握し、今

後の施策や取り組みにおいて重要視すべき事項の洗い出しを行う。残業管理方法の見直し、ダイバーシティ受け入れのための制度・設備整備など、雇用環境改善のための施策について検討を行う。

3. 人材の確保について

- (1)雇用活動の方法について、またその費用
- (2)採用ニーズ、ダイバーシティの雇用について
- (3)雇用についての現状の課題・解決のための取り組み
- (4)ダイバーシティ雇用拡充のために必要な事項

事業者が雇用活動に用いる媒体や活動にかかる費用、採用ニーズや課題について情報を得たい。

今後、より良い雇用活動の場の創出(産廃業者を集めた企業・就職説明会の開催等)について、事業者のニーズに応じた検討を行う。

ダイバーシティの雇用については、事業者が市政に求める対応・支援について意見・要望を募り、それらを踏まえて雇用拡充のための施策検討を行う。

4. 人材の育成について

- (1)人材育成のための現状での取り組みについて
- (2)実施している研修の具体例

人材育成の取り組み状況、具体的な研修・講習内容について情報を得たい。

産廃業界において重要視されているスキル・資格を把握する。また、業界全体での効率的な人材育成の方法について検討を行う。(市や協会主催セミナーの開催等)

5. 優良認定制度について

- (1)優良認定の取得有無・その理由
- (2)廃棄物処理についての目標
- (3)企業理念・方針等の明文化・情報公開について
- (4)処理業者が感じている、排出事業者からの要求事項について
- (5)優良認定制度のあり方について、意見・要望等

優良認定についての現状での認識、優良認定に係わる取り組み状況、顧客である排出事業者が業務委託をする際の業者選定基準(クライテリア)について情報を得たい。また、新しい認定制度への意見や要望を把握する。

これらの情報から、新しい優良認定制度の評価基準項目(点数評価の指標等)や、認定業者へのインセンティブの内容等、事業者の要望や提案を取り入れつつ、現状に則した制度設計について検討を行う。